

○ 中・北空知廃棄物処理広域連合自家用電気工作物保安規程

制 定 平成23年 5 月10日 訓令第 1 号

目次

- 第 1 章 総則（第 1 条－第 4 条）
- 第 2 章 保安業務の運営管理体制（第 5 条－第12条）
- 第 3 章 保安教育（第13条・第14条）
- 第 4 章 工事の計画及び実施（第15条・第16条）
- 第 5 章 法定事業者検査（第17条）
- 第 6 章 保守（第18条・第19条）
- 第 7 章 運転又は操作（第20条－第22条）
- 第 8 章 災害対策（第23条）
- 第 9 章 記録（第24条）
- 第10章 責任の分界（第25条・第26条）
- 第11章 雑則（第27条－第30条）
- 附則

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この規程は、電気事業法（昭和39年法律第170号）第 4 2 条第 1 項の規定に基づき、中・北空知廃棄物処理広域連合ごみ処理施設（以下「ごみ処理施設」という。）における自家用電気工作物（以下「電気工作物」という。）の工事、維持及び運用の保安を確保するため、必要な事項を定めることを目的とする。

（法令等の遵守）

第 2 条 ごみ処理施設の設置者及び従業者は、電気関係法令（以下「法令」という。）及びこの規程を遵守するものとする。

（細則の制定）

第 3 条 この規程を実施するため必要と認められる場合には、別に細則を制定するものとする。

（規程等の改正）

第 4 条 この規程の改正又は前条の細則の制定若しくは改正に当たっては、電気主任技術者及びボイラー・タービン主任技術者（以下「主任技術者」という。）の参画のもとに立案し、決定するものとする。

第 2 章 保安業務の運営管理体制

（総括）

第 5 条 広域連合長は、電気工作物の工事、維持又は運用に関する保安業務を総括管理する。

（主任技術者の選任）

第 6 条 広域連合長は、法令及びこの規程に基づく保安監督の職務を的確に遂行するため、主任技術者を選任する。

（保安業務の組織）

第 7 条 電気工作物の工事、維持又は運用に関する責任の所在指揮命令系統及び連絡系統は、別紙組

織図のとおりとする。

（設置者の義務）

第8条 広域連合長は、電気工作物に関する保安上重要な事項を決定し、又は実施しようとするときは、主任技術者の意見を求めるものとする。

2 広域連合長は、主任技術者の電気工作物に係る保安に関する意見を尊重するものとする。

3 広域連合長は、法令に基づいて所管官庁等に提出する書類の内容が電気工作物に係る保安に関係のある場合には、主任技術者の参画のもとにこれを立案し、決定するものとする。

4 広域連合長は、所管官庁等が法令に基づいて行う検査・審査には、主任技術者を立ち会わせるものとする。

（主任技術者の義務）

第9条 主任技術者は、広域連合長を補佐し、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督の業務を総括しなければならない。

2 主任技術者は、法令及びこの規程を遵守し、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督の職務を誠実に行わなければならない。

（従業者の義務）

第10条 電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者は、主任技術者がその保安のためにする指示に従わなければならない。

（主任技術者不在時の措置）

第11条 主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在となる場合は、その業務を代行する者（以下「代務者」という。）をあらかじめ指定しておくものとする。

2 代務者は、主任技術者の不在時には、主任技術者に指示された職務を誠実に行わなければならない。

（主任技術者の解任）

第12条 広域連合長は、主任技術者が次の各号のいずれかに該当する場合は、解任することができる。

（1）病気による長期の欠勤、精神障害等により、保安の確保上不適當と認められたとき。

（2）法令又はこの規程の定めに違反し、又はその義務を怠り、保安の確保上不適當と認められたとき。

2 主任技術者は、前項各号に該当する場合又は昇任、勤務替え、退職等をした場合のほかは、その意に反して解任されない。

第3章 保安教育

（保安教育）

第13条 広域連合長は、主任技術者の意見を聞き電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者に対し、電気工作物の保安に関し必要な知識及び技能の教育を計画的に行わなければならない。

（保安に関する訓練）

第14条 広域連合長は、電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者に対し、事故その他非常災害が発生したときの措置について、必要に応じ実地指導訓練を行うものとする。

2 主任技術者は、前項の保安に関する訓練について助言又は意見具申する。

第4章 工事の計画及び実施

（工事計画）

第15条 電気工作物の設置、改造等の工事計画を立案するに当たっては、主任技術者の意見を求める

ものとする。

2 主任技術者は、電気工作物の安全な運用を確保するため、電気工作物の主要な修繕工事及び改良工事（以下「補修工事」という。）の年度計画を立案し、広域連合長の承認を求めなければならない。

3 前項の計画は、当事業場の各部門と緊密な連絡を取り、その意見を聴いて立案しなければならない。

（工事の実施）

第16条 電気工作物の工事計画の実施に当たっては、当事業場の業務活動等と調整を図り、広域連合長の承認を経て実施するものとする。

2 電気工作物に関する工事の実施に当たっては、必要に応じ作業責任者を選任し主任技術者の監督のもとに施工するものとする。

3 電気工作物に関する工事を他の者に請け負わせる場合には、常に責任の所在を明確にし、完成した場合には主任技術者が検査し、保安上支障のないことを確認して引き取るものとする。

4 工事の実施に当たっては、その保安を確保するため、工事ごとに作業心得を作成しなければならない。

5 前項の作業心得には、次の事項を明らかにしなければならない。

（1） 作業時間、停電時間、停電範囲及び危険区域の表示

（2） 作業用器具等の準備状況の確認

（3） 停電中の遮断器、開閉器の誤操作の防止措置

（4） 作業責任者の指名とその責任

（5） 作業終了時の点検及び測定

第5章 法定事業者検査

（法定事業者検査の実施）

第17条 法令で事業者検査が定められている電気工作物については、検査毎に主任技術者の指導・監督のもと必要な責任者を定め、法令に従い事業者検査を行うものとする。

第6章 保守

（巡視、点検、測定等）

第18条 電気工作物の保安のための巡視、点検及び測定は、別表第1に定める基準により計画的に行わなければならない。

2 主任技術者は、前項の基準により電気工作物の保守業務の指導監督を行うに当たっては、当事業場の業務活動等と調整を図り、年度実施計画を作成し、広域連合長の承認を経てこれを実施しなければならない。

3 巡視、点検又は測定の結果、法令に定める技術基準に適合しない事項が判明したときには、当該電気工作物を修理し、改造し、移設し、又はその使用を一時停止し、若しくは制限する等の措置を講じ、常に技術基準に適合するよう維持するものとする。

（事故の再発防止）

第19条 事故その他異常が発生した場合には、必要に応じ臨時に精密検査を行いその原因を究明し、再発防止に遺漏のないよう措置するものとする。

第7章 運転又は操作

（運転又は操作）

第20条 電気工作物の運転又は操作の基準は、別に定める細則によるものとする。

2 前項の細則は、次に掲げる事項について定めるものとする。

- (1) 平常時及び事故その他の異常時における電気工作物の運転又は操作を要する機器の操作順序及び運転方法並びに指令系統及び連絡系統
- (2) 電気工作物の軽微な事故を修理し、又は使用を停止し、若しくは使用を制限する等の応急措置並びに報告又は連絡要領
- (3) 北海道電力株式会社との連絡事項
- (4) 緊急時に連絡すべき事項、連絡先及び連絡方法の揭示
(長期停止期間等の措置)

第21条 発電設備を長期間にわたり保管する場合には、主要機器の手入れ点検を行い、及び防錆防湿等必要な対策を講じるものとする。

第22条 発電設備を相当長期間保管の後、運転を開始する場合は、所定の点検を行うほか、必要に応じ試運転を行い、保安の確保に万全を期すものとする。

第8章 災害対策

(防災体制)

第23条 台風、洪水、地震、火災その他の非常災害に備えて電気工作物に関する保安を確保するために、防災思想に従事者に徹底し、応急資材を備蓄するとともに、災害発生時の措置に関する当事業場内の体制をあらかじめ整備し、並びに当事業場外の関係機関との協力体制及び連絡体制を整備しておくものとする。

2 主任技術者は、非常災害発生時において電気工作物に関する保安を確保するための指揮監督を行うものとする。

3 主任技術者は、災害等の発生に伴い危険と認められるときは、直ちに当該範囲の送電を停止することができるものとする。

第9章 記録

(記録)

第24条 主任技術者は、電気工作物の工事、維持及び運用に関する事項を記録し、必要な期間保存しなければならない。

2 主要機器の補修工事記録は、設備台帳に記録し、必要な期間保存しなければならない。

3 法定事業者検査の結果は、法令に基づき記録し、必要な期間保存しなければならない。

4 前3項に定める必要な期間は、別表第2のとおりとする。

第10章 責任の分界

(責任の分界)

第25条 北海道電力株式会社との保安上の責任分界点は、電力需給契約書に基づく責任分界点とする。

(需要設備等の構内図)

第26条 ごみ処理施設における需要設備等の構内図を作成し、構内図には、前条の責任分界点を記入するものとする。

第11章 雑則

(危険の表示)

第27条 主任技術者は、受電室その他高圧電気工作物が設置されている場所等であって危険のおそれのあるところには、人の注意を喚起するための表示を設けなければならない。

(測定器具類の整備)

第28条 主任技術者は、電気工作物の保安上必要とする測定器具類は常に整備し、これを適正に保管しなければならない。

(設計図書類の整備)

第29条 主任技術者は、電気工作物に関する設計図、仕様書、取扱説明書等を整備し、必要な期間保存しなければならない。

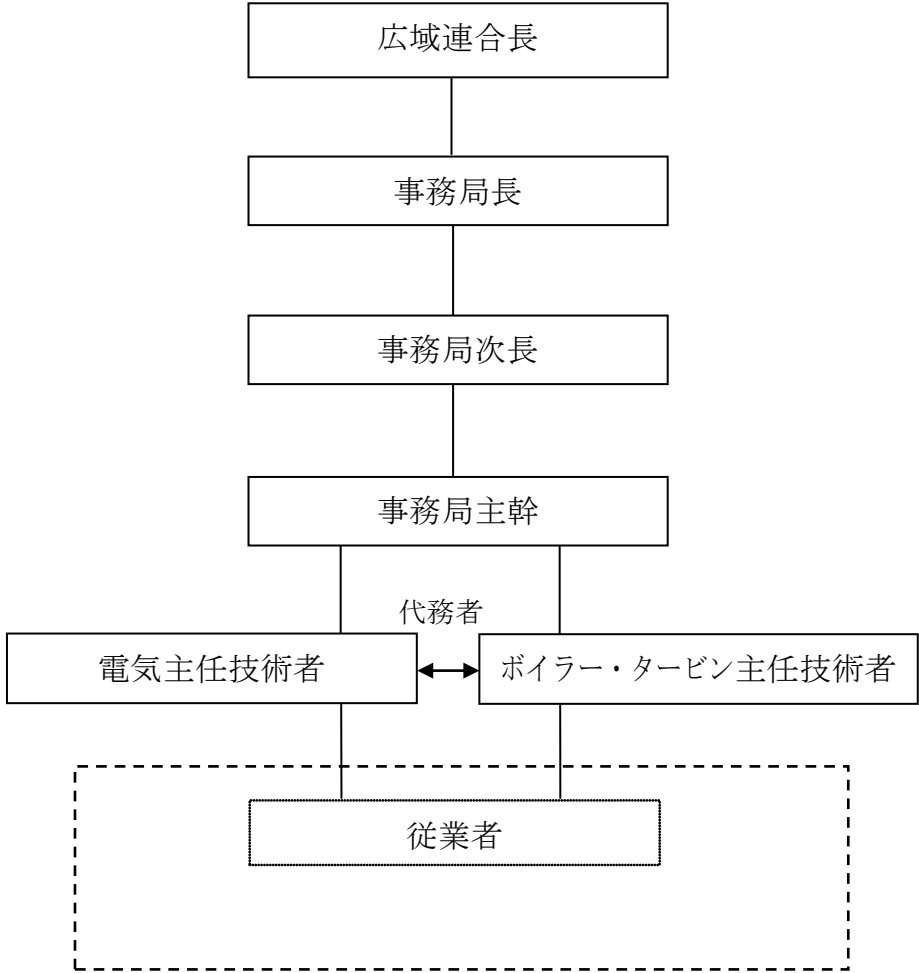
(手続書類等の整備)

第30条 主任技術者は、関係官庁、電気事業者等に提出した書類及び図面その他主要文書については、その写しを必要な期間保存しなければならない。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

組 織 図



別表第1（第18条第1項関係）

巡視、点検、測定基準

項 目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測 定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
受電 引込 電線 路	地中電線路	1	1月	電柱立ち上がり部保護 管損傷	1	2年	ケーブルヘッド等の 損傷、腐食、亀裂	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	布設部外部点検 布設部の無断掘削	2	2年	ピット及びマンホー ル等清掃点検			
接 地 設 備	接地線	1	1月	接地線の取付状況 接地極埋設表示等	1	2年	接続部の弛み、腐 食、損傷	1	1年	接地抵抗測定
		2	1月	接地端子盤 外観、端子の変色				2	4年	導通試験
受 変 電 設 備	母線	1	1月	碍子、線路取り付け状 況	1	2年	母線の他の物との離 隔距離、腐食、過熱	1	1年	絶縁抵抗測定
				接続部の変色、過熱	2	2年	接続部分、クランプ 類の腐食損傷、過 熱、弛み			
					3	2年	がいし類、支持金物 の腐食、損傷、変 形、弛み			
	バスダクト	1	1月	外観、変色、変形、異 音	1	2年	接続部の弛み、焼損	1	1年	絶縁抵抗測定
					2	2年	碍子類、支持金物損 傷、変形、変色			
	ケーブル	1	1月	ヘッド、接続部の過熱 変色、弛み、	1	2年	支持物、接続部弛み ヘッド損傷、変形	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	損傷、変形						接地抵抗測定
	断路器	1	1月	閉路、開路状態 異臭、受刃の変色、過 熱、変形	1	2年	刃と受の接触、過 熱、弛み、荒れ具合	1	1年	絶縁抵抗測定
					2	2年	投入機構部の点検給 油			
					3	2年	がいしの損傷			
	電力ヒューズ	1	1月	閉路状態、異音 碍管、碍子の亀裂、損 傷	1	2年	端子接続部の弛み	1	2年	導通試験
					2	2年	ヒューズの圧着状況			

項目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測 定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
受 変 電 設 備	遮断器 (VCB) 開閉器 (VCS)	1	1月	外観点検 (異音、異臭、過熱、 発錆)	1	2年	各部の弛み、脱落、 過熱、変色、損傷	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	開閉表示器の表示 バネ蓄勢表示 絶縁物の亀裂、損傷、 汚損	2	2年	コネクタの具合	2	不定 期	必要により動作 特性試験
					3	2年	操作機構の異常の有 無			
					4	2年	開閉動作の異常の有 無			
					5	2年	無接地線接続部			
	計器用変成器	1	1月	外観点検 (異音、異臭、汚損、 損傷、変形、発錆)	1	2年	各部の損傷、腐食、 弛み、汚損、変色	1	1年	絶縁抵抗測定
					2	2年	ヒューズの異常の有 無			
					3	2年	無接地線接続部			
	避雷器	1	1月	外観点検 異音 碍子の汚れ、損傷、亀 裂	1	2年	各部の損傷、弛み、汚 損	1	1年	接地抵抗測定
					2	2年	接地線接続部	2	1年	絶縁抵抗測定
	電力コンデン サ 直列リアクト ル	1	1月 1月	表示、指示 異音、異臭、漏油、ガ ス漏れ、温度 碍子部の損傷	1	2年	各部の損傷、弛み、 汚損	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	5年					2	5年	静電容量測定
	配電盤 監視盤	1	毎日	各相電圧電流バラン ス、表示灯、計器 切り替えスイッチの操 作良否	1	2年	配線損傷、変色、弛 み、断線	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	異音、異臭	2年	2年	接地線接続状態 器具取り付け点検			保護継電器の動作 試験
		3	1月	保護継電器表示状態	2年	1年	器具番号、線番号 保護連動、継電器試 験			
	直流電源用蓄 電池	1	1月	液面、漏液 換気ファンの異音	1	2年	端子弛み、汚損	1	1年	セル電圧測定
	直流電源用充 電器	1	毎日	電圧、電流値、	1	2年	接続弛み、汚損	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	異音、異臭、過熱						

項 目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測 定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
受 変 電 設 備	変圧器 (モールド)	1	1月	本体およびブッシング の外観点検 異音、異臭、振動 塵 埃付着、変色、結露	1	2年	各部の清掃	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	毎日	電圧、電流、温度	2	2年	各部の点検 (巻線絶縁物、巻線 支持物、口出線、そ の他導体部)			
					3	2年	接地線接続部			
					4	1年	温度計、保護装置の 指示動作試験			
低 圧 配 電 設 備	配電用遮断器 開閉器類	1	1月	損傷、汚損、異音、過 熱	1	2年	取り付け、接続弛み	1	1年	絶縁抵抗測定
	母線	1	1月	異音、接続部の過熱、 異臭	1	2年	弛み、変形、変色、 損傷	1	1年	絶縁抵抗測定
	変圧器 (モルト型)	1	1月	本体およびブッシング の外観点検 異音、異臭、振動 塵 埃付着、変色、結露	1	2年	各部の清掃	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	毎日	電圧、電流、温度	2	2年	各部の点検 (巻線絶縁物、巻線 支持物、口出線、そ の他導体部)			温度計、保護装置 の指示動作試験
	ケーブル	1	1月	ヘッド、接続部の過 熱、変色、弛み	1	2年	接地線接続部			
		2	1月	損傷、変形						
低 圧 配 電 設 備	低圧配電盤 コントロール盤 分電盤	1	1月	異音、異臭、表示、指 示	1	2年	配線、器具取り付け 弛み、汚損	1	1年	絶縁抵抗測定 保護連動、継電器 試験
	ケーブル	1	1月	ヘッド、接続部の過 熱、変色、弛み	1	2年	支持物、接続部の弛 み、 ヘッド損傷、変形	1	1年	絶縁抵抗測定

項 目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測 定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
負 荷 設 備	電動機	1	毎日	電流値、異音、異臭、 振動、過熱	1	2年 2年	制御装置の点検清掃 通風部の点検清掃	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	毎日	軸受の過熱、漏油	2年	接地線接続部				
	配線、配線器 具 制御盤	1	1月	電線管、サドルの破 損、脱落 配線ルート点検 (異音、変形、異臭、 過熱)	1	2年	制御盤器具解放点検 清掃	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	制御盤点検 (表示、指示、異音、 異臭、過熱)						
	照明コンセ ント設備	1	随時	異音、不点灯、	1	随時	器具の汚損、損傷、 異音 接地線接続部 分電盤内部点検清掃	1	1年	絶縁抵抗測定 (各回路別)
2	1月	分電盤外部	2	随時						
3	1月	コンセント破損	2 3	2年						
	電熱装置	1	1月	異音、異臭、変形、破 損、過熱、温度制御の 具合	1	2年	電源及び接地線接続 状況	1	1年	絶縁抵抗測定
非 常 用 発 電 設 備	原動機関係	1	1月	始動用動力源の点検	1	2年	冷却系統、潤滑油、 エンジン各部の異常 の有無、汚損部清掃 機関主要部分の点検 整備	1	1年	排ガス測定 実負荷運転実施
		2	1月	燃料系統の漏油貯油 量、						
		3	1月	燃料系統等配管バル ブ・冷却水、潤滑油、 排気系の状態						
		4	1月	始動、停止テスト						
	発電機及び励 磁機	1	1月	外観点検（漏油、変 色）	1	必要 時	日常点検結果より特 定対象を決めて行う	1	1年	絶縁抵抗測定
2	1月	起動テスト 電圧、周波数、異音								
発電機盤、自 動起動制御盤	1	1月	外観点検、器具破損 メーター類指示、表示 灯	1	2年	接続部取付け部弛み 汚損	1	1年	絶縁抵抗測定 保護継電器動作試 験	
蓄電池	1	1月	液面、漏液、換気ファ ンの異音	1	2年	端子弛み、汚損	1	2年	セル電圧測定	

項 目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測 定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
自 家 用 発 電 設 備	発電機及び励磁機	1	毎日	本体、軸受、潤滑油の温度	1	4年	軸受分解点検	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	毎日	異音、異臭、振動	2	4年	空気冷却器点検			
	発電機盤遮断器盤	1	毎日	メーター類、指示、表示灯	1	2年	接続部、支持物弛み汚損	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	操作、切り替え開閉器	2	2年	AVR点検			保護連動、継電器試験
	ケーブル	1	1月	盤内点検（異音、異臭）	3	2年	同期検定装置の点検			
		2	1月	ヘッド、接続部の過熱	1	2年	支持物、接続部の弛み	1	1年	絶縁抵抗測定
無 停 電 電 源 装 置	蓄電池	1	1月	変色、弛み 損傷、変形	1	2年	ヘッド損傷、変形			
	インバータ	1	1月	漏液、換気ファンの異音	1	2年	端子弛み、汚損	1	2年	セル電圧測定
	計装分電盤	1	毎日	電圧、電流、	1	2年	弛み、変色、汚損			
					2	2年	換気ファン交換			
					1	2年	弛み、汚損	1	1年	絶縁抵抗測定
					2	2年	接地線接続			

項 目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
ボ イ ラ ー 設 備	蒸気ドラム	1	毎日	漏洩・リーク音 圧力・水位等	1	2年	胴内目視点検	1	2年 8年	PT検査 MT検査
	管寄せ	2	毎日	漏洩・圧力・リーク音	2	2年	内部目視点検			
	水管	3	毎日	漏洩	3	2年	外観目視点検	3	2年	肉厚測定・抜管調 査(必要箇所)
	過熱器管	4	毎日	漏洩・圧力・温度	4	2年	外観目視点検	4	2年	肉厚測定
	ケーシング	5	毎日	ガス漏れ・変形・変色						
	ドラム安全弁 過熱器安全弁 アキュムレータ安全弁	1	毎日	漏洩、熱	1	2年	計画的分解点検整備	1	2年	封鎖作動試験
	ボイラー主蒸気 止弁 ボトムブロー 弁 ヘッドアートレ ン弁	1	毎日	漏洩・開閉状況・異音	1	6年 未満	計画的分解点検整備			
	主要配管	1 2	毎日 1月	漏洩・振動・トラップの作 動状況、伸び ハンガーの状態 保温の状況				1	余寿 命評 価に よる	測定計画に基づき 管の厚さ測定(周期 は余寿命評価によ る) 測定計画は必 要に応じ見直す
	蒸気ドラム圧力 計 過熱器出口圧 力計 透視式水面計 二色式水面計	1 2	毎日 毎日	圧力・標準管理値の確 認・漏洩・ 水位確認・漏洩・汚れ	1 2	6年 未満 2年	計画的分解点検整備 分解点検清掃	1	2年	主要計器類の校正 (他の計器類の校 正期限は別に定め る)
	高圧蒸気だめ	1	毎日	漏洩・圧力、温度	1	6年 未満	計画的内部点検			

項目 対 象		日常巡視点検			定期点検			測定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
ボイラー設備	連続ブロー装置 缶水サンプリング装置	1 2	毎日 1月	漏洩・ブロー量、温度 漏洩・冷却水状況						
	アキュムレータ		毎日	漏洩・液面・圧力						
	スートブロワ	1 2	毎日 1月	漏洩・電流値等 潤滑油の状態・給油 動作確認	1	6年 未満	計画的分解点検整備			
	ボイラー給水調節弁	1	毎日	漏洩・開閉作動状況・異音	1	6年 未満	計画的分解点検整備			
	ボイラー給水ポンプ	1 2	毎日 1月	異音・吐出圧力・冷却水・電流・漏洩 給油等	1	4年	計画的分解点検整備	1	2年	作動試験 試運転等により実施
	ボイラ用薬液注入ポンプ	1	毎日	異音・吐出圧力・ストローク、注入量	1	6年 未満	分解点検整備			
	純水装置	1	毎日	漏洩・液面・運転状況等	1 2 3 4 5	4年 4年 4年 1年 4年	内部管等の点検 ダイヤフラム弁点検 シーケンサ電池交換 樹脂の補充 樹脂の全量取替			
	純水タンク	1	毎日	漏洩・液面						
	純水移送ポンプ	1 2	毎日 1月	異音・振動・圧力・冷却水・電流、漏洩 給油	1	6年 未満	計画的分解点検整備			

項目 対象		日常巡視点検			定期点検			測定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
蒸気タービン	タービン本体 全般	1	毎日	温度・異音・振動、圧力、漏洩	1	4年	車軸、隔板、グランド(ラビリンスパッキン)取り外し点検整備			
	車室(ラビリンスパッキン含む)	1	毎日	蒸気の漏れ 伸び	1	4年	車軸、隔板、グランド(ラビリンスパッキン)取り外し、PT・エロージョン点検			
	隔板・噴口				1	4年	隔板取り外し、PT・エロージョンの進行状況点検			
	ローター・動翼				1	4年	車軸取り外し、PT・エロージョンの進行状況点検			
	軸受	1	毎日	温度・異音・振動、油量	1	4年	軸受取り外し、PT・	1	4年	組立て隙間の測定
	ターニング装置	1	毎日	油面	1	4年	分解点検整備			
	減速装置歯車	1	毎日	温度・異音・振動、油量	1	4年	ギアー取り外し、歯当り・バックラッシュの点検			
	減速装置軸受	1	毎日	温度・異音・振動、油量	1	4年	軸受取り外し、PT・	1	4年	組立て隙間の測定
	蒸気加減弁	1	毎日	作動状況・蒸気等の漏れ	1	4年	弁取り外し	1	4年	弁当り・弁棒とプッシングの隙間・偏心の測定
	主蒸気止め弁	1	毎日	蒸気等の漏れ	1	4年	弁取り外し	1	4年	弁当り・弁棒とプッシングの隙間・偏心の測定
	主油ポンプ 補助油ポンプ 非常用油ポンプ	1	毎日	作動状況・異音・振動・圧力	1	4年	・計画的分解点検整備			作動試験 試運転等により実施

項目 対象		日常巡視点検			定期点検			測定		
		No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法	No.	周期	点検箇所・方法
蒸気タービン	油冷却器	1	毎日	温度・油等の漏れ 圧力	1	4年	内部点検、清掃、水張り 又は気密テスト			
	油タンク	1	毎日	油量・油温	1	4年 未満	内部点検清掃(油清浄 又は油交換)			
	蒸気復水器(空 冷式復水器)	1	毎日	温度・異音・振動・圧力・ 電流・油量	1	4年 未満	内部点検 減速機の分解点検整備 冷却部清掃 減速機の油交換			
	抽気エゼクタ	1 2	毎日 毎日	駆動蒸気圧力 漏れ	1	4年	内部点検、清掃、水張り 又は気密テスト			
	排気復水ポンプ 脱気器給水ポン プ	1	毎日	異音・振動・圧力・冷却 水・電流、漏洩	1	6年 未満	計画的分解点検整備			
	電気一位置換 器及び油圧サ ーボモータ	1	毎日	蒸気・油等の漏れ・汚 れ・損傷	1	4年	計画的分解点検整備			
	非常调速機	1						1	4年	作動試験 動作値測定
	保安装置	1	毎日	起動盤計器の確認				1	4年	保安警報試験
	主要配管	1 2	毎日 1月	漏洩・振動・伸び ハンガーの状態 保温の状況				1		測定計画に基づき 管の厚さ測定(周期 は余寿命評価によ る) 測定計画は必要に 応じ見直す
	ドレントラップ	1	毎日	蒸気の漏れトラップの 作動状況、		4年	主蒸気管、エゼクター、 の分解点検			
	脱気器 復水タンク	1 2	毎日 毎日	漏洩・液面・圧力 漏洩・液面・温度						
	脱気器安全弁		毎日	漏洩、	1	2年	計画的分解点検整備	1	2年	封鎖作動試験

別表第2（第24条第4項関係）

記録の種類	保存期間
運 転 日 報	3 年
巡 視 ・ 点 検 ・ 測 定 記 録	5 年
法 定 事 業 者 検 査 記 録	5 年
主 要 機 器 工 事 記 録	永年
電 気 事 故 記 録	永年